#### 議事録

訪問先:EU ナイロビ市

日時 : 2005年1月19日(水) 9:00

出席者: Eng. Andrew Gitonga (Project Officer)

稲村 団長

竹内 専門家

石塚 担当官

桑田 調査団員

相互挨拶の後、稲村団長より訪問主旨を説明し、協議が行われた。 議事内容は以下に示すとおりである。

- 1. JICA 道路維持管理プロジェクトの内容:
  - -対象地域:ナイロビ市内の舗装道路
  - -機材:舗装路面カッター、機材は小型コンパクター、小型アスファルト スプレイヤー等
  - -内容:補修工事研修と実習による技術者の育成。

研修員は地方工事事務所の職員も対象とし、道路維持管理技術習

得者の全国的な拡大を目的とする。

- 2. EU は JICA プロジェクトに賛成である。
  - -EU が実施する道路のリハビリテーションと重複せず、補完するものである。
  - 道路公共事業省は計画の能力に欠けており、良い計画である。
  - -現場技術のレベルアップにつながり効果的である。
- 3. 燃料税について
  - -年間8~9 billion Kshs の歳入があるが、過去の工事未払い分(金利込み) に追われ、実質の配分予算は少ない。

現在8 billion Kshs の未払いがある。

- -燃料税の使途が不明であり、審査を要求しているが回答なしである。
- 4. 道路部門に関する政策アドバイス

EU は 2004 年 3 月に 20 年後までをターゲットとして政策立案を行なった。

「Kenya transport Policy and Roads Sub-Sector Policy and Strategy」作成、ケニア政府に提出した。これは JICA ヘコピーが渡っている筈である。

主たる内容は以下のとおりである。

- 道路セクターの再編成(各道路管理機関の統合、エージェンシー化等)
- 交通安全
- -土地利用
- -2004年10月に政策に関する会議を開催(ケニア政府、各ドナー出席)。席上、MoRPW の PS は2004年末までにこの報告書に対する方針を EU に報告すると発言したが、音沙汰なしである。
- -MoRPW は報告書の政策案に次の理由から同意していない。
  - a) KRB の強化に不賛成 (会計監査も含め)。
  - b) 道路に関する権限すべてを掌握しておきたいと考えている。
- -MoRPW の Odinga 大臣は EU 案を支持しているが、PS 以下の閣僚が反対している。 道路に関する権限と予算を掌握しておきたいと考えている。

#### 5. EU の道路維持管理に対する支援

- -Road2000プログラムを支援しているが、成功しているとは言いがたい。
  - a) 資金が MoRPW 本省経由のため支払いが滞っている。
  - b) 未舗装道路の整備等が主なため費用が嵩んでいる。
  - c) 対象地域は8地区で砂利道11路線であるがリンクしていない。 対象道路の管理は District road engineer(Manager)がしている。
- -SIDA や DANIDA も Road 2 0 0 0 プログラムを支援しているが、資金を 直接地方自治体に渡しているので、比較的うまく進んでいる。

#### 6. その他

EU が実施しているモンバサ道路の現場視察は構わない。 現場に連絡しておく。

各ドナー組織の支援リスト入手。

#### NGNG KIHBT 視察記事

日時:2005年1月28日、15:30~16:30

面接者: NGNG KIHBT 所長 Mr. Muridi

案内者: NAIROBI KIHBIT 副所長

視察者:稲村 団長

石塚 担当官

竹内 専門家

桑田 調査団員

#### 視察内容:

相互挨拶の後 Muridi 所長より研修所の説明があった。

研修所の研修学科目:

- 一算数
- 一社会
- 一英語
- 一スワヒリ語
- 一商業
- --科学
- 一現場管理方法
- 一土質
- --道路建設技術

等で、道路技術の研修には1986年にスイスの SDC が作った道路施工マニュアル (三部冊) を教材として使用しているとのことであった。

#### 研修所の所有機材:

- --モーターグレーダー
- ーブルドーザー
- -ホイールロダー
- **一**ローラー
- ―農業用トラクター

建機については1)建設機械の基礎的なメンテナンス方法、2)道路走行法規、3)基礎的な機械の理論(エンジン、トランスミッション、油圧システム、安全点検、冷却システム、燃料系統、タイヤの点検管理等)を教習している。

道路舗装補修用の小型の機材は見当たらず、道路舗装補修の研修はなく、パッチワーク等 の研修は出来ない状態で、事実、研修科目としてなかった。

次に屋外でのブルドーザー運転操作の実習中の現場を視察。

只単にブルドーザーを動かすだけの練習中で、計画された高さと幅に土を盛る練習ではないと見えた。

また、研修所に至る一般道は1989年に19km研修生を使って建設し、現在は研修所前からさらに次の県境まで、研修生を使い建設中である、と説明があった。

此処では横断排水パイプカルバートの施工方法については道路建設マニュアルと道路建設 現場で研修が行なわれているようだが、橋梁設計施工の研修は行なわれていない。

# 技プロ「道路維持管理プロジェクト」事前評価調査

- 1 調査内容・対処方針(案)
- 2 実施計画書(事前評価調査)
- 3 日程案
- 4 調査団リスト
- 5 ミニッツ案
- 6 PDM 案

ケニア国 道路維持管理プロジェクト 事前評価調査 調査内容・対処方針

調査方針 (1)プロジェクトの基本方針を調査する。 (2) P DM(案)及び実施計画書を協議・合意しM/Mに署名する。 (3)収集した情報・合意事項を基にプロジェクト・ドキュメント簡易版と事前評価表を作成する。

	調査項目	現状	調査内容	対処方針
)道路維	(1)道路維持管理体制についての現状を確認す	現状を確認する		
1.1	·		<ul><li>道路公共事業省における国レベルでの道路 維持管理政策の方向性、今後の展開等について、調査、確認する。</li></ul>	・簡単な舗装の修理は今後も道路局直轄で行うことを確認する。
1. 2			・道路交通網整備を実施する中央政府の組織 体制(道路公共事業省)、事業内容について 確認するとともに、本計画における連携可能 性について検討する。	・大幅な変更の予定がないことを確認する。
1.3			・他ドナーによる道路維持管理プロジェクト への援助状況、実施体制、運営上の課題等に ついて確認する。	・重複や、方針の違いがないことを確認する。
1.4			・対象地域の社会経済発展状況、治安につい て確認する。	<ul><li>・補修活動が問題なく行えることを確認する。</li></ul>
(2) 70	ジェクトの基本方針を	協議する。		
2. 1	人材育成方針	・道路局の技術者が工事現場を経験しないため、民間業者が実施する工事の検査を十分に行う知識・経験を有しない。	・舗装工事の実務を経験する必要性の認識・民間業者が行う舗装工事の検査を経験する必要性認識・民間業者における舗装補修技術向上の必要性	・行政レベルでの研修方針を確認した上で、 民間レベルへの拡充に向けた研修方針を作成 する。
2.2	技術的投入		・必要とされる舗装技術の確認	・舗装技術の短期専門家は民間からリクルートする。
2.3	子算	・道路維持管理に関する予算は不十分。	・ケニア側補修予算の確保の見通し ・研修に関する経費(日当等)の確保の見通し	<ul><li>予算確保の見通しを確認し、不十分の場合は、増額を要請する。</li></ul>
2.4	対象地域		・Road Maintenance Unitの活動範囲を確認	・RMUを対象としたOJTはナイロビを対象。 ・研修は、全国を対象
2.5	対象者	・道路公共事業省が対象	・道路公共事業省のほか、地方道を管理して いるナイロビ市役所の活動を調査する。ま た、民間舗装業者の技術レベルを確認する。	・実際に道路を維持管理している 道路公共事業のほかに、民間企業 の能力向上も視野に入れた内容 とするかを検討する。
2.6	実施期間		·全体協力期間	・3年間とする

2.7	実施体制	・実施機関は道路公共事業省。	・RMUの役割を確認する。	・道路公共事業省との協議に基づき 決定するが、協議の過程には他ド ナーの動向を確認しながら役割を 確認する。
2.8	コンポーネントと活動	・道路維持管理を行う監督者は不足。	<ul><li>RMUの0JT</li><li>既存の「道路維持管理マニュアル」を基にした8州における研修会の開催</li><li>必要となる機材の確認</li></ul>	・道路維特管理監督者・検査員の質の向上は 喫緊の課題であるほか、民間企業の研修につ いても検討を行う。 また、必要となる機材を確認する。
2.9	プロジェクト開始ま でのスケジュール	<ul><li>1月17日より事前評価調査。</li><li>1月下旬にM/N締結予定であり、 その際にスケジュールを協議。</li><li>2月下旬までにR/D案完成。</li></ul>	・R/D案承認までの時間及び手続き。	
(3) PI	P D M(案)及び実施計画書を	町書を協議・合意しM/Mに署名する。		
2.1	名称		· Road Maintenance Unit in Kenya	
2.2	上位目標・プロジェ クト目標		・ケニア側予算で維持可能な道路補修ンステムの完成を通して、道路ネットワークを維持する。	
2.3	成果・活動		・道路局の道路維持管理能力向上 ・道路局の道路維持管理に関する予算獲得 ・道路局スタッフの道路修理のレベル向上 ・道路維持管理マニュアルの適切な利用	
2.4	前提条件·外部条件		前提条件	<ul><li>道路局の道路維持管理の役割に変化が生じない。</li></ul>
2.5	指標 指			・入手可能な指標を確認する
2. 6	日本側の投入		·長期専門家 ·短期専門家 ·研修予算 ·装備 ·評価	・1名 ・6ヶ月1名を2回 ・年1名 2ヶ月程度 ・小規模な機材もしくは、現有機器の補修部 品に限定する。
2.7	ケニア側の投入		・カウンターパート機関  ・オフィス及び機材の供与  ・年間予算の確保	

作成年月日: 平成16年11月24日

在外事務所 (主管): ケニア事務所

本部 (課題部): 社会開発部第三グループ

運輸・交通第二チーム

### プロジェクト準備等実施計画書(事前評価調査)

スキーム名 技術協力プロジェクト

プロジェクトID 5150310A0020 実施番号

決裁番号

予算年度 平成16年度(当年度/繰越)

予算費目 海外技術協力事業費 予算事項 事前評価調査

全期間経費(\*技協のみ) (千円) 実施計画額

(千円)

対象 国名 ケニア国

件 名(和)道路維持管理

(英) Road Maintenance Administration

相手国機関名(和)道路公共事業省

(英) Ministry of Roads and Public Works and KRB

#### 背景

ケニア共和国の道路ネットワークは総延長 198 千 km とアフリカ諸国の中でも屈 指の規模である。また、この道路はケニアのみならず隣接するウガンダ、ルワンダ、 ブルンジ、タンザニアなど東アフリカ諸国の経済の根幹を担っている。

しかしながら、過去30年間に渡って適切な道路維持管理が実施されなかったこ とから、現在では、総延長の約 40%が道路としての機能を喪失した状態にある。 これらは、輸送コストや輸送時間の増大を招き、同国及び東アフリカ諸国の経済発 展の大きな障害となっている。つまり定期的な道路維持管理が適切になされていな いため、道路の損傷がますます進行し、それを修復するために維持管理に必要以上 に多大な国費が浪費されているという状況にある。

これらの状況を打開するため、ケニア政府は、新たにKRB (Kenya Road Board) を設立し、全国にわたる道路機能全てを対象に適切な道路維持管理を図るべく体制 を整えつつあるが多くの課題が残されている。また、道路公共事業省はEAC(East African Community) のリーダーとしての立場を鮮明にし、東アフリカ諸国との協 力を重視する立場から国際幹線道路の整備に踏み出そうとしている。

また、道路維持管理については、2000年2月にケニア政府より我が国に対して、 財源確保、組織・体制・ガイドライン及びそれらの運用方法、民間業者の技術水準 向上等をパッケージとした開発調査の要請を受け、2000年11月~2003年1月にか けて開発調査を実施し、道路維持管理に関する基準・マニュアルを作成したところ であり、現在道路公共事業省個別専門家により、マニュアルの周知徹底、道路維持 管理行政の効率化に関する助言等を行っている。今後、同国における道路維持管理 をますます発展させていくためには、道路維持管理行政の効率化のみならず舗装技 術等の指導を通じた包括的な維持管理体制の構築が必要となっていることから、ケ ニア政府より本技術協力プロジェクトを要請越したもの。

#### 国別事業実施計画における位置付け

ケニア国別事業実施計画における5本柱の環境セクターにおいて、重点課題である「経済インフラ整備」に含まれる。

#### プロジェクト概要 (\*無償のみ)

1)上位目標

持続可能な道路維持管理体制が確立されることで、ケニア国の道路交通網が維持される。

- 2) プロジェクト目標
  - 道路維持管理体制の確立。
  - ・効率的、効果的な維持管理計画の立案及び実施が可能となる。
  - 効果的な維持管理行政及び適切な維持管理技術が習得される。
- 3)成果
  - ・道路維持予算の効果的な配分が図られる。
  - ・道路維持体制が強化される。
  - ・道路維持工事に関する技術者のレベル向上が図られ、適切な修理が行われる。
  - ・維持管理マニュアルが全国レベルで有効・適切に活用される。
- 4)活動、投入計画
  - ・道路維持管理政策に関する助言。
  - ・KRBを含む維持管理体制に関する指導・助言。
  - ・道路維持管理計画立案及び実施に関する指導・助言。
  - ・道路、橋梁維持管理マニュアルの有効活用に関する助言、指導。
  - 簡易な舗装補修技術の指導
  - ・本邦研修の実施。
- 5) 投入

#### <日本側投入>

- ・事前評価コンサルタント費用 300 万円
- ・専門家(道路維持管理)36人月×200万円=7,200万円
- · 専門家(舗装技術等)6人月×200万円×2回=2,400万円
- •一般現地活動費 300 万円
- ・セミナー開催費 300 万円
- ·本邦研修 2 人月×3 年×210 万円=1, 260 万円

#### <相手側投入>

- ・カウンターパートの配置(プロジェクトマネージャー、スタッフ)
- ・事務サービスの提供(ドライバー、秘書)、公用車、資機材
- ・執務室の提供、関連資料の提供および関係機関との調整
- 6) プロジェクト・サイト
  - ・道路公共事業省
- 7) 受益者

直接受益者: 道路公共事業省、地方からの研修員 間接受益者: 道路を利用する国民、道路利用する産業

#### 調査方針

当事務所及びケニア道路公共事業省派遣専門家の活動成果を踏まえた上で、プロジェクト実施に必要な情報を収集するとともに、実施可能性と協力の効果が見込める協力内容について協議し、基本計画を策定する。これらを目的として事前評価調査を行う。

#### 調査内容

- 1 道路公共事業省における国レベルでの道路維持管理政策の方向性、今後の展開等について、調査、確認する。
- 2. 道路交通網整備を実施する中央政府の組織体制(道路公共事業省)、事業内容について確認するとともに、本計画における連携可能性について検討する。
- 3. 他ドナーによる道路維持管理プロジェクトへの援助状況、実施体制、運営上の課題等について確認する。
- 4. 対象地域の社会経済発展状況、治安について確認する。
- 5. 要請内容及び日本側協力方針案を参考にしつつ、調査団とケニア側の間でPD M案に基づいた協議をし、協力内容についての検討を行う。
- 6. ケニア国側の要請内容についての協議を行い、結果をPDM・PO(案)に取りまとめる。
- 7. 技術協力プロジェクトの実施に際し、両国が負担する事項について確認を行っ。
- 8. プロジェクト実施機関及び両国が負担する具体的な投入計画等についての協議を行い、プロジェクト全体の最終調整を行う。
- 9. プロジェクト活動に必要となる施設計画、機材計画を策定する。
- 10. 以上の結果を踏まえ、プロジェクトのマスタープラン(案)をミニッツとして 取りまとめる。

#### 調查団員

- ・総括・団長 (JICA ケニア事務所 次長)
- ・計画分析・経済調査(JICA ケニア事務所・コンサルタント)
  - 道路公共事業省個別専門家も調査動向予定。

#### 調査期間

2005年1月16日 ~ 2005年2月2日

#### 調査工程 (\*任意、工程名および工程の開始・終了年月旬を入力)

	工程名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	備考
-m -+	事前評価調査							
調査	実施協議		·				1	

## ケニア国「道路維持管理」事前評価調査日程案

				総括·協力計画·評価分析	総括・協力計画 ケニア事務所	評価分析 コンサル
5	1月16日	日	午前	TARREST PROPERTY.		rae ja
			午後	20:40羽田発(EK6251)-21:55関空着 23:15関空発(EK317)-05:45ドバイ着		
6	1月17日	月	午前	08:10ドバイ発(EK723)-12:10ナイロビ着		
			午後	15:00団内・事務打合せ(JICAケニア事務所)、 18:00大使館表敬		
7	1月18日	火	午前	9:00道路公共事業省、 11:00EU		
				世銀(来週)		
8	1月19日	水	午前	現場調査		
			午後	現場調査		· 法《证书法》的
9	1月20日	木	午前	現場調査		or wie da
			午後	現場調査		
10	1月21日	金	午前	現場調査		
		7	午後	現場調査		
11	1月22日	±	午前	報告書取りまとめ		
			午後	報告書取りまとめ		
12	1月23日	日	午前	報告書取りまとめ		
	312 0		午後	報告書取りまとめ		能學的問題
13	1月24日	月	午前	移動		
			午後	道路公共事業省協議		
14	1月25日	火	午前	道路公共事業省協議		
			午後	道路公共事業省協議		
15	1月26日	水	午前	道路公共事業省協議	HAME MEAN	
			午後	道路公共事業省協議		election (1944)
16	1月27日	木	午前	道路公共事業省協議	推出。	
			午後	道路公共事業省協議		
17	1月28日	金	午前	ミニッツ署名、S/W案取りまとめ、		
10	LE C		午後	事務所·大使館報告		
18	1月29日	±	午前	調査結果の整理・分析		
			午後	調査結果の整理・分析		
19	1月30日	日	午前	調査結果の整理・分析		
ä			午後	調査結果の整理・分析		<b>主体操作主题</b> [
20	1月31日	月	午前	追加補足調査、事前調査報告書(案)作成		r-mail of the
			-	追加補足調査、事前調査報告書(案)作成		
21	2月1日	火		事前調査報告書(案)提出、団内打合せ		
				18:20ナイロビ発(EK720)-00:15ドバイ着	and the same of th	
22	2月2日	水	-	02:35ドバイ発(EK316)-16:25関空着		
	97.45.11	37		18:30関空発(EK6252)-19:35羽田着		

# ケニア国 道路維持管理プロジェクト 事前評価調査 調査団リスト

No	氏名	Job Title	所属
1	稲村 次郎	団長/総括	JICAケニア事務所次長
2	石塚	調査企画	JICAケニア事務所所員
3	桑田 幸	計画分析・経済 調査	㈱国際開発アソシエイツ
	竹內 政彦	道路維持管理	道路公共事業省 JICA専門家

# MINUTES OF MEETINGS BETWEEN THE EX-ANTE EVALUATION STUDY TEAM OF THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF KENYA ON TECHNICAL COOPERATION

**FOR** 

# ROAD MAINTENANCE UNIT IN KENYA

The Ex-Ante Evaluation Study Team of the Government of Japan (hereinafter referred to as "the Team") on technical cooperation for the Road Maintenance Unit in Kenya (hereinafter referred to as "the Project"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Jiro Inamura, was dispatched to the Republic of Kenya from October 17<sup>th</sup> to January ooth 2005. The purpose of the dispatch was to formulate the Project requested by the authorities concerned of the Government of the Republic of Kenya (hereinafter referred to as "GOK") under the technical cooperation of the Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ").

During its stay, the Team exchanged views with the authorities concerned of GOK through a series of meetings and field observations on the Project.

As the result of the discussions, both parties reached common understanding regarding the matters referred to in the documents attached hereto. Both parties agreed to recommend them to their respective governments.

Nairobi, Feburary 00, 2005

Jiro Inamura Deputy Resident Representative Kenya Office Japan International Cooperation Agency

Permanent Secretary Ministry of Public Works The Republic of Kenya

#### **ATTACHMENTS**

#### 1. Background to the Project

To be filled according to the project proposal.

#### 2. The Framework of the Project

The draft project design stated herein may be modified and finalized over the course of discussions prior to the official signing of the document titled "Record of Discussions" (hereinafter referred to as "R/D").

#### 2.1. Project Title

The project is titled as "Road Maintenance Unit in Kenya"

#### 2.2. Executing Organizations

The Project will be executed by the following organizations:

- Ministry of Public Works that will take overall responsibility for project administration and implementation.
- Road Department that will be the lead managerial and technical implementation agency.

#### 2.3. Project Locations

- 1. Project head office: Headquarters of Road Department
- Project areas: Nairobi

#### 2.4. Project Beneficiaries

Direct beneficiaries: Members road maintenance unit and

2. Indirect beneficiaries: Kenyan Citizens and Road Users in Kenya

#### 2.5. Project Duration

Three (3) years commencing on the date specified in the R/D.

#### 2.6. Overall Goal

To maintain road network through achieving self-sustainable road maintenance system

#### 2.7. Project Purpose

To establish efficient and effective road maintenance management system through improvement of planning and monitoring of road maintenance work and improvement of pavement repair techniques

#### 2.8. Expected Outputs

1. Road department strengthen their capacity for road maintenance

- 2. Road department obtains effective allocation and utilization of the maintenance budget for road
- 3. Technical level of pavement repair of staffs of road department are improved and proper repair of road are attained
- 4. Road maintenance manuals are utilized properly through out country

#### 2.9. Possible Broad Activities

#### 1. Prepare recommendations for road maintenance policy

- 1.1 Review present policy and recommendations from various stakeholders
- 1.2 Prepare recommendations

# 2. Prepare recommendations for organization and activities for road maintenance related agencies include KRB and road department

- 2.1 Review present organization and activities
- 2.2 Prepare recommendations

#### 3. Rationalize planning and execution of road maintenance

- 3.1 Enhance inspection of the road conditions
- 3.2 Improve planning of maintenance works
- 3.3 minimize maintenance work period

#### 4. Utilize Road Maintenance Manual

- 4.1 Workshops on road maintenance manual
- 4.2 Monitoring the utilization of the manual
- 4.3 Revise the manual
- 5. Improve pavement repair techniques
  - 5.1 OJT for the road maintenance unit
  - 5.2 Workshops on inspection of road maintenance works
  - 5.3 Workshops on pavement repair techniques
- 6. Carry out evaluation of the project
- 2.10. Inputs from Kenyan Side
- 1. Personnel for the Project

GOK will provide necessary personnel to ensure the smooth operation of the Project as follows.

Project Director:

Director, Road Department

Project Manager: Project Co-Manager:  Counterpart Staff:
Headquarters Staff of
Project Areas
Supporting Staff:
① Administrative Staff
② Secretaries
2. Facilities and Equipment
(1) Office space for project head office in Road Department headquarters
(2) Office space for project areas
(3) Training facilities in Ministry of Public Works
(4) Electricity, Telephone and Water Supply
(5) Vehicles
(6) Training Equipment
3. Administrative and Operational Costs
ここが重要
2.11. Inputs from Japanese side
1. Experts
(1) Long-term Experts

- - 1 Education Advisor
- (2) Short-term Experts

Short-term experts will be dispatched as appropriate.

- 2. Counterpart training
  - (1) Short-term training in Japan and/or any other third countries for one (1) road engineer every year.
- 3. Seminars and Workshops
  - (1) Road maintenance strategy development
  - (2) Road maintenance manual
  - (3) Road inspection and maintenance work inspection
  - (4) Pavement repair techniques

#### 4. Equipment

(1) Renovation and rehabilitation of education facilities at the headquarters and field stations

#### 3. Joint Steering Committee

#### 3.1. Function

For the effective and successful implementation of the Project, a joint steering committee will be established to make decisions relevant to the Project. The Joint Steering Committee will meet when necessary and at least once a year in order to fulfil the following functions:

- 1. To formulate annual work plan of the Project based on the Plan of Operations within the framework of the R/D.
- 2. To review the results of the annual work plan and the progress of the Project.
- 3. To exchange views and ideas on major issues those arise during the implementation period of the Project.

#### 3.2. Committee members

1. Chair:

The committee will be composed of the chair and the members. The rules and guidelines for the management of the committee will be determined at the initial stage of the Project. The possible composition might be as follows:

Permane	nt Secretary, Ministry of Public Works
2. Members:	
(1) Keny	an Side:
1	Desk Officer responsible for JICA, Ministry of Finance
2	Director of Road Department as Project Director
3	as Project Manager
4	
(5)	
6	
7	Relevant personnel accepted by Chairperson, if necessary
(2) Japan	nese side:
. 1	Expert(s)

② Resident Representative of Kenya Office, JICA

③ Other member(s) accepted by Chairperson, if necessary

#### 4. Proposed Measures to be taken by GOJ

In addition to the compliance to the "Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Kenya", signed in Nairobi on April 29<sup>th</sup>, 2004 (hereinafter referred to as the "Agreement On Technical Cooperation"), both sides confirmed the following points as the responsibilities of the Japanese side:

1. The Japanese side will make the contributions described in article 2.11 of this document.

#### 5. Proposed Measures to be taken by GOK

In addition to the compliance to the "Agreement on Technical Cooperation" both sides confirmed the following points as responsibilities of the Kenyan side:

- 1. The Kenyan side will make the contributions described in article 2.10 of this document
- 2. The Kenyan side will involve and engage all the related organisations and stakeholders to the implementation of the Project.

#### 6. Schedule before the commencement of the Project

- JICA will prepare the draft Project Document by the end of the year 2004. KWS
  and NMK will submit written comments to the draft Project Document to the
  Resident Representative of JICA Kenya Office.
- 2. The Project Document and R/D will be finalized by JICA incorporating the comments of KWS and NMK.
- 3. The R/D shall be signed between the Ministry of Tourism and Wildlife, the Ministry of Finance and JICA Kenya Office as soon as possible after finalization of Project Document.

#### 7. Monitoring and Review of the Project

- 1. The project team will annually conduct monitoring and review of the project activities.
- 2. Joint Final Review between GOK and GOJ for the final evaluation of the project activities will be conducted in the last year of the project period.

#### 8. Project Design Matrix (PDM) of the Project

The draft of Project Design Matrix (PDM) of the Project, which describes the project framework, activities and input is attached as Annex 1.

PDM<sub>0</sub>

Attachment I

Project Name: "Road Mai

"Road Maintenance Unit"

Road Department, Ministry of Public Works

Implementing Agency:

Duration: JFY2005 to JFY 2008 Target Region: Kenya, East Africa Project Site: Nairobi, Kenya

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal	- Levels of budget for road	ı	Government policy on
To maintain road network through achieving self-sustainable road	maintenance	1	road sector remains
maintenance system	- 舗装全面張替えまでの期間		consistent
		•	
Project Purpose			i
To establish efficient and effective road maintenance management	ı		
system through improvement of planning and monitoring of road		- Project monitoring report	
maintenance work and improvement of pavement repair techniques			
Output 1	- Number and level of the staffs for	- Project reports	Government role for road
Road department strengthen their capacity for road maintenance	road maintenance	- Activity report of Road maintenance	maintenance remains
	- Number of repair works by area and	unit	unchanged
Output 2	road	- Workshops reports	
Road department obtains effective allocation and utilization of the	- Number of participants of the		Personnel trained under
maintenance budget for road	technical workshops for road repair		the project are retained by
	*11		road department
Output 3			
Technical level of pavement repair of staffs of road department are			
improved and proper repair of road are attained			
Output 4			
Road maintenance manuals are utilized properly through out			
country			

Activities	duI	Inputs	Inputs are secured and
			availed timely
1. Prepare recommendations for road maintenance policy	Japanese Side	Kenyan Side	Pre-conditions
1.1 review present poncy and recommendations from various stakeholders	Short-term expert (s)	Office facilities, materials and	the capability to
1.2 Prepare recommendations	_Training budget	equipment	implement the project
	Equipment	Recurrent budget	
2. Prepare recommendations for organization and activities for road maintenance related against include VDB and road			
department	-		
2.1 Review present organization and activities			
2.2 Prepare recommendations			
3. Rationalize planning and execution of road maintenance			
3.1 Enhance inspection of the road conditions			
3.2 Improve planning of maintenance works			
3.3 minimize maintenance work period			
4. Utilize Road Maintenance Manual			
4.1 Workshops on road maintenance manual			
4.2 Monitoring the utilization of the manual			
4.3 Revise the manual			
5. Improve pavement repair techniques			
5.1 OJT for the road maintenance unit			
5.2 Workshops on inspection of road maintenance works			
5.3 Workshops on pavement repair techniques			
6. Carry out evaluation of the project			